

# UZoneのアカウントに対してメール送信プログラム

---

## 送信先の設定

送信先はスプレッドシートで管理しています。

[Uzone\\_CRM\\_対象](#)のシート [送信対象](#)

送信対象から削除する場合は、その行を削除、

送信対象を増やす場合は、末尾に行を追加してください。

担当者は現在メール送信時には使わないようにしているので、追加の際に含めなくても大丈夫です。

上記のシートは、編集する際に警告を出すように設定していますが、意図していない編集を防ぐ目的なので、編集していただいて大丈夫です。

アクセスが弾かれる場合は、[SFPJ](#)のアカウントを利用して確認してみてください。

## メール送信

1. デスクトップ上にある フォルダ [UZone\\_CRM](#) にアクセス
2. フォルダ内にある [UZone\\_CRM\\_データセット.bat](#) をダブルクリック フォルダ内の [TRAN\\_DATA](#) 配下に当日付のフォルダが作成されます
3. 作成された当日付のフォルダにアクセス  
フォルダの場所 [TRAN\\_DATA/{year\\_month\\_date}](#)  
フォルダ内には宛先リスト [mail\\_status.csv](#)、メールの件名を設定する [subject.txt](#)、紹介するパーツ名を設定する [parts\\_name.txt](#) が作成されます

## ユーザ設定部分

4. メールの件名を [subject.txt](#) 内に記述する
5. 紹介するパーツ名(黒い線で挟まれた部分)を [parts\\_name.txt](#) 内に記述する  
改行を含める場合は [<br>](#) を改行の代わりに含めてください。
6. [TRAN\\_DATA/{year\\_month\\_date}](#) 配下に添付したい画像をファイル名 [mail](#) で、ファイル形式を [png](#) にして配置。

## メール自動送信部分

7. [UZone\\_CRM](#) 配下に移動
8. [UZone\\_CRM\\_メール送信.bat](#) をダブルクリック
9. 1通目はOutlookのアプリでプレビュー表示されるので、それを確認して問題がなければ送信をクリック
10. そのまま送信を続ける場合は、黒い画面で [y](#) を打ち込み、[Enter](#) を押してください

## 注意点

- bat処理 [UZone\\_CRM\\_データセット.bat](#) と [メール自動送信.bat](#) の2つは同一日に実行するようにしてください。  
実行できなかった場合は、最初からやりなおすようにしてください。
- メールフォーマットなどを、変更したい場合は、[藤原](#)に連絡してください。  
すぐしたければ、メール本文は [UZone\\_CRMメール送信/MASTER\\_DATA/mail.html](#) を変更すればいい

す。

- `connect_google_servive.json`はGoogleアカウントSFPJのGoogle Cloud PlatformのプロジェクトUZone-CRMから取得することが可能です。  
一応隠してます。